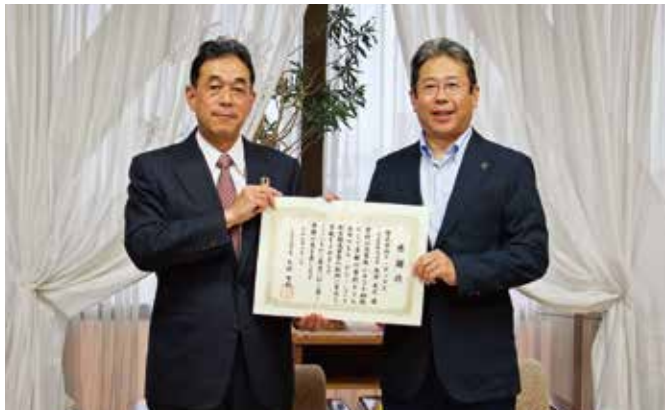


## はじめての企業版ふるさと納税



6/2

株式会社ナ・デックスより、市の企業版ふるさと納税にご寄附いただき、目録の進呈と感謝状の贈呈式が行われました。

「企業の発展を通じて社員の幸福と社会の繁栄につくす」という社是を掲げ、社員や地域を大切にしている同社。本社は名古屋市にありますが、市内に技術センターやソリューションセンターなどの拠点をもち、技術開発の拠点として事業を展開しています。拠点の従業員の多くが市民であるなど、市とゆかりが深く、高田寿之社長は「企業版ふるさと納税を通じて、お世話になっている地域のみなさんに恩返しをしたい」と今回の寄附を申し出ていただきました。

本市は令和5年度から企業版ふるさと納税の募集を開始し、今回が第1号として初めての寄附。太田市長は「ご協力に感謝し、もっともっと魅力のあるまちにします」と意気込みを語りました。いただいた寄附は「共創のまちづくり拠点整備事業」に活用させていただきます。

この事業は産官学民の多様な主体が集い、魅力的な地域を共に創る「共創のまちづくり」の実現を目指しています。共創のまちづくり拠点「市民活動センター」は令和6年10月にオープン予定です。

## 日頃の成果が数字で結果に!



5/28

清潔で美しく緑あふれるまちづくり、快適な生活環境を確立することを目指し、市民・自治会・環境美化団体・事業者・市職員などおよそ8,335人がごみゼロ運動に参加しました。

環境課によると、今回のごみゼロ運動では2,620Kgのごみと44Kgの資源を回収できたとのこと。また、ごみ量は昨年と比較すると657Kg減少していたそうです。この結果は、清掃ボランティアのみなさんの、日々の成果はもちろんのこと、ポイ捨てや不法投棄が減ったことも原因ではないかと考えています。引き続き市全体できれいなまちづくりに取り組んでいきましょう。

## リサイクルで生まれかわる!



5/25

ミナミ産業株式会社からペットボトルをリサイクルした下敷きを市内の全小学4年生へ寄付していただき、西春小学校で贈呈式が行われました。同社は5月で創業50周年を迎え、この活動は16年目となります。池田暁部長は下敷きを使うことでリサイクルの意識を高めてほしいと実物を使ってユーモアを交えて紹介。「正しく分別すれば新しいものに生まれかわることを知ってほしい」と語りました。児童代表の藤田菜夏子さん、山口晃太郎さんは「感謝を忘れず大切にしていきたい」とお礼の言葉を述べました。

同社は資源リサイクルの理解を深めてもらうため、今後も活動を継続していく予定とのこと。